

ひまわり日記

No. 2 0

H28.10.21

船橋夏見特別支援学校

校長 小室 いづみ

10月18日(火)



今日は県の監査委員事務局の方がお出でになり、2年目の本校の学校運営状況や職員の勤務状況・帳簿類の点検、確認に来校しました。午前中そちらで説明や校内案内を行った後、5限の高等部A課程が授業研究だったので覗きに行きました。4名の生徒を相手に英語の分詞構文の授業でした。分詞構文の説明を始める以前で、「風邪をひいた」という英文の単純な表現が生徒から中々出て来ず、担当の教諭が大分苦勞をしていました。担当者のやや悩ましげな様子を撮ってしまったのは、私の時間がなかったからです。ごめんなさい。授業見学は途中までで、この後すぐに幕張の千葉県総合教育センターへ直行です！



こちらでは、午前から教員企業実習発表会が行われていました。今年本校からは、高等部の門田教諭を企業実習に派遣しました。午後から始まる彼の発表を応援です。会場は既に、県内特別支援学校から派遣された教諭達による発表が始まっていました。これは、県内で障害者を受け入れる特例子会社を作っている企業へ教員が実習に行き、教え子たちがどのように仕事に取り組んでいるのか、実際に企業はどのような部分を生徒達に期待しているのかを学ぶ研修です。やや硬い表情でノートパソコンの画面をにらめっこしながら、三つ揃えのスーツでカッコ良く決めた門田教諭の発表が始まりました。スーパーマルエツの子会社マーノでの5日間の実習の様子を時間を超過して熱く語ってくれました。お疲れ様でした。校内研修でもまた、発表してもらいましょう。



*

*

10月19日(水)

本日は外国からのお客様です。コソボ共和国の国立大学のキャリアセンター職員の方。私は英語は片言しか出来ないし、教頭も事務長も笑って知らんぷりだし…と、心配していましたが、県から通訳の方や特別支援教育課からも含め4名での来校でした。コソボ共和国と言えば、1990年旧ユーゴスラビアから独立し、様々な政変や紛争を経験している国です。アバズィ女史は11月末には帰国予定、その前に日本の様々な教育状況を視察したいとの事でした。校内の授業を見ていただきました。医療的ケアの様子には感心したようにじっと見つめ、BC課程の美術や作業学習では作った折り紙の花を生徒からもらい本当に嬉しそうでした。最後は体育の授業のボッチャにも参加して投げてもらいました。チームが勝つと生徒と一緒に手を叩いて、笑顔でした。本校の生徒も皆笑顔でアバズィさんに手を振っていました。午後は千葉盲学校の視察との事。国に帰られ、障害者教育に深い理解を持ってくれることを期待します。



*

*

*

10月20日(木)

今日は春にサツマイモ植えを体験させてくれた「みどりの会」の方たちが、収穫をさせてくれるとの事！苗植えの時は出張で参加できなかったのですが、中学部B課程に私もついていきました。会の方へ挨拶の後、畑に用意してくれたブルーシートに座り、軍手をはめて芋掘り開始です。立派なサツマイモがゴロゴロ出てきました。来週は、高等部が収穫させていただきます。感謝です。

